

I N D E X

◆ 所長からのメッセージ ◆

熱中症の予防に身体作業強度に応じたWBGT 基準値を活用しよう

◆ TOPICS ◆

- 1 派遣労働者の労働条件及び安全衛生の確保について
- 2 平成20年度における石綿による健康被害に係る給付の請求・決定状況について(速報値)
～前年度に比べ、請求件数、支給決定件数ともに増加～
- 3 平成21年度全国労働衛生週間実施要綱決定

◆ 相談員の窓 ◆

腰痛

◆ 職業性疾病発生事例 ◆

- ・ 有機溶剤による中毒等
- ・ 特定化学物質による中毒等

◆ 新着情報 ◆

・新着冊子のご案内

◆ 研修・セミナーのご案内(8月・9月)◆

◆ 所長からのメッセージ ◆

熱中症の予防に身体作業強度に応じたWBGT 基準値を活用しよう

大分産業保健推進センター 所長 三角順一

記録的な長梅雨のために冷夏と言われていますが、ついに梅雨明け、一気に35℃を超える暑い日が、始まりました。

8月は、熱中症の発生が最も多い季節であることは、既に御承知のとおりです。熱中症の対策については、これまでも、メルマガ42号、メルマガ54号及びメルマガ55号などにもご紹介させて頂いております。熱中症は、気温、湿度、気流、輻射熱、熱への耐性、作業強度 並びに体調が、総合的に関係して発症します。

今回は、熱中症の予防対策を進める上で、身体作業強度に応じたWBGT基準値を活用した重要な3つのポイントについてご紹介いたしましょう。

1. 作業者が、熱に馴れているか。
2. 作業場に気流があるか。
3. 身体作業強度は、強いのか、弱いのか。

以上の3つを対策に取り入れることが、大事です。

さて、熱に馴れていない人とは、どのような人でしょうか?「作業する前の週に、毎日熱に暴露されていなかった人のこと」、を言います。作業場で働いている作業者が、「**空気の流れがある**」と感じているかどうか。身体作業強度の判断は、区分0から4までに分類されている。身体作業強度とそれに応じたWBGT値を熟知した上で、作業を行うようにしましょう。

また、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、多血症や高血圧など基礎疾患を持っている人は、特に、水分・Na、Kなどのミネラル類、ビタミンB1等の管理を、こまめに行うことが求められます。

睡眠不足や深酒による二日酔いは、致命的となる恐れがあるので注意しましょう。職場に、乾湿温度計のみならず、黒球温度計を用意すること、または、熱中症指標計(WBGT-213B、京都電子工業製、中央労働災害防止協会販売元)があると、簡便に測定できます。

作業強度別の基準値

区分	身体作業強度のレベル	WBGT基準値			
		熱に馴化している		熱に否馴化	
0	安静	33		32	
1	低代謝率	30		29	
2	中程度代謝率	28		26	
3	高代謝率	25	26	22	23
4	極高代謝率	23	25	18	20

熱に否馴化とは、「作業する前の週に、毎日熱に暴露されていなかった人」をいう。赤色の数字は、空気の流れを感じない時、青色の数字は、空気の流れを感じる時以下に身体作業強度区分別の作業例を示す。

区分0: 安静にしている状態

区分1: 低代謝率の作業

- 1) 楽な座位の作業(書く、タイピング、描く、縫う、簿記など)
- 2) 手及び腕の作業(小さいベンチツール、点検、組み立てや軽い材料の区分けなど)
- 3) 腕と足の作業(普通の状態での乗り物の運転作業、足のスイッチやペダルの操作)
- 4) 立位の作業(ドリル(小さい部分)、フライス盤(小さい部分)、コイル巻き、小さい電気小巻き、小さい力の道具の機会、ちょっとした歩き(速さ3.5km/h)など)

区分2: 中程度の代謝率の作業

- 1) 継続した頭と腕の作業(くぎ打ち、盛り土)
- 2) 腕と足の作業(トラックのオフロード操縦、トラクター及び建設車両の運転)
- 3) 腕と胴体を使う作業(空気ハンマーの作業、トラクターの組み立て作業、漆喰塗り、中くらいの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、草掘り、果物や野菜を摘む作業)
- 4) 軽量の荷車や手押し車を押したり引いたりする作業
- 5) 3.5-5.5km/hの速さで歩く
- 6) 鋳造作業

区分3: 高代謝率の作業

強度の腕と胴体を使う作業

- 1) 重い材料を運ぶ作業
- 2) シャベルを使う、大ハンマー作業
- 3) のこぎりを引く、堅い木にかんなをかけたりのみで彫る
- 4) 草刈り、掘る
- 5) 5.5-7km/hの速さで歩く

- 6) 重い荷物の荷車や手押し車を押したり引いたりする
- 7) 鋳物を掘る
- 8) コンクリートブロックを積む作業等

区分4: 極高代謝率の作業

最大速度の速さでとても激しい活動

- 1) 斧を振る作業
- 2) 激しくシャベルを使ったり掘ったりする作業
- 3) 階段を登る
- 4) 走る
- 5) 7km/h より速く歩くなど

猛暑の8月を組織的に、計画的な水分摂取を行い、暑い夏をご安全に乗り切ってください。

◆ TOPICS ◆

1 派遣労働者の労働条件及び安全衛生の確保について

平成21年3月31日に、派遣労働者の労働条件及び安全衛生の確保に当たり、派遣元事業主及び派遣先事業主が各自、又は連携して実施すべき重点事項等について取りまとめた通達を都道府県労働局長あて発出しました。

…以下省略…

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/04/tp0401-1.html>

2 平成20年度における石綿による健康被害に係る給付の請求・決定状況について(速報値)

～前年度に比べ、請求件数、支給決定件数ともに増加～

(1) 労災保険法に基づく石綿による肺がん・中皮腫の保険給付に係る請求・支給決定状況

ア 労災保険法に基づく石綿による肺がん・中皮腫の請求件数は、前年度に比べ12.5%の増加

・労災保険給付の請求件数

平成20年度 1,268件(速報値)

平成19年度 1,127件

イ 労災保険法に基づく石綿による肺がん・中皮腫の支給決定件数は、前年度に比べ6.1%の増加

・労災保険給付の支給決定件数

平成20年度 1,063件(速報値)

平成19年度 1,002件

(2) 石綿救済法に基づく特別遺族給付金に係る請求・支給決定状況

ア 石綿救済法に基づく特別遺族給付金の請求件数は、前年度と比べ126.5%の増加

・特別遺族給付金の請求件数

平成20年度 256件(速報値)

平成19年度 113件

イ 石綿救済法に基づく特別遺族給付金の支給決定件数は、前年度と比べ22.2%の増加

・特別遺族給付金の支給決定件数

平成20年度 121件(速報値)

平成19年度 99件

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/06/h0629-3.html>

3 平成21年度全国労働衛生週間実施要綱決定

今般、平成21年度の全国労働衛生週間実施要綱が下記の通り決定されました。

記

平成21年度全国労働衛生週間実施要綱

(1) 趣旨

全国労働衛生週間は、昭和25年に第1回が実施されて以来、本年で第60回を迎える。この間、本週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保等に大きな役割を果たしてきたところである。

我が国における昨年の業務上疾病による被災者は8,874人であり、平成16年以降増加している。

また、一般定期健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合は増加を続けており、平成20年は51.3%に上っている。さらに、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる労働者の割合は約6割に上っている。

このような状況の下、第11次の労働災害防止計画の2年目として、労働者の健康確保対策を推進し、定期健康診断における有所見率の増加傾向に歯止めをかけ、減少に転じさせること等を目標に、危険性又は有害性等の調査等の促進、健康診断の結果に基づく措置の実施の促進、メンタルヘルス対策の推進、快適職場づくり対策の推進、粉じん障害の防止、化学物質による健康障害の防止等を重点対策とし、関係者が着実に取り組み、労働者の健康の確保及び快適職場の形成促進を図ることが必要である。

特に、メンタルヘルス対策については、仕事の質・量、職場の人間関係等の変化、労働者の孤立等により心の健康問題を抱える労働者の増加が危惧されていること等を背景に、より一層の対策の推進が必要であるが、このためには、企業や事業場のトップの強い決意とリーダーシップのもと、労働者、管理監督者、産業保健スタッフ等がそれぞれの役割と責任を認識し、組織的かつ積極的に取り組み、労働者の心の健康が確保された明るい職場をみんなで実現していくことが重要である。

このような観点から、本年度は、

「トップが決意みんながつくる 心の健康・明るい職場」

をスローガンとして全国労働衛生週間を展開し、事業場における労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図ることとする。

(2) スローガン

「トップが決意みんながつくる 心の健康・明るい職場」

(3) 期間

10月1日から10月7日までとする。

なお、本週間の実効を上げるため、9月1日から9月30日までを準備期間とする。

(4) 主唱者

厚生労働省、中央労働災害防止協会

(5) 協賛者

建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会及び鉱業労働災害防止協会

(6) 協力者

関係行政機関、地方公共団体、安全衛生関係団体、労働団体及び事業者団体

(7) 実施者

各事業場

(8) 主唱者、協賛者の実施事項

- ア 労働衛生広報資料等の作成、配布を行う。
 - イ 雑誌等を通じて広報を行う。
 - ウ 労働衛生講習会等を開催する。
 - エ 事業場の実施事項についての指導援助
 - オ その他「全国労働衛生週間」にふさわしい行事等の実施
- ・・・以下省略・・・

<http://www.mhlw.go.jp/za/0728/a75/a75.pdf>

◆ 相談員の窓 ◆

腰痛

産業保健(基幹)相談員

青野 裕士(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 准教授)

腰痛は、労働者災害補償保険に基づく保障の対象となる疾患として、最も大きな割合を占めています。厚生労働省が、平成16年に、職場で発症し休業4日以上腰痛に係る労働者死傷病報告(<http://www.jaish.gr.jp/horei/hor1-49/hor1-49-5-1-2.html>)を行っています。内訳をみると、製造業(18.8%、752件)、運輸交通業(16.9%、679件)、商業、金融・広告業(17.8%、714件)、保健衛生業(17.4%、697件)の順でした。昭和61年、63年の同様の調査に比べ、製造業は31.7%から18.8%、建設業は14.5%から7.0%、運輸交通業は22.6%から16.9%と対策が進んでいるのですが、商業、金融・広告業は10.4%から17.8%、保健衛生業は大幅に増加しています。特に、社会福祉施設での発症件数が保健衛生業の59.9%を占めていました。

腰痛の多発している業種では、産業保健に関わる各担当者が、指針などの情報を周知すべきでしょう。また、安全衛生委員会などを通じて、作業者が不定常作業を回避できる職場環境の整備も望まれます。腰痛の多発しやすい業種では、定期健康診断に、腰痛予防に特化した項目を加えることも、時に、必要と思われます。以下、担当する方々に向け、それぞれの役割について、実践例を加味して、ご紹介したいと存じます。

[人事・労務担当者の皆さんへ](#)

[産業看護職、産業医の皆さんに](#)

[腰痛の治療をされている主治医の先生方へ](#)

[事業主の皆さんへ](#)

◆ 職業性疾病発生事例 ◆

(2例 ー平成19年ー)

例 1 有機溶剤による中毒等

【有害要因】

クロロホルム

【業種】

有機工業製品製造業

【発生月】

8月

【被災者数】

中毒 1名

【発生状況】

化学薬品保管場所において、保管していたドラム缶から液が漏れていたため、他のドラム缶を移動させたところ、そのドラム缶が破損し、ドラム缶の中の液が漏れ、漏れた液から発生したクロロホルムガスを吸入し、クロロホルム中毒となった。

【発生原因等】

- ・ 換気不十分
- ・ 呼吸用保護具未着用

例 2 特定化学物質による中毒等

【有害要因】

塩素

【業種】

その他の各種事業

【発生月】

8月

【被災者数】

中毒 1名

【発生状況】

試験用試料(ステンレス溶接剤)の溶接部分を写真撮影するための表面処理作業に おいて、塩酸と過酸化水素を混合したエッチング液を作り、試料の表面を刷毛でエッチング液を塗ったところ、塩素ガスが発生し中毒となった。

【発生原因等】

- ・ 危険有害性の認識不足
- ・ 換気不十分
- ・ 安全衛生教育不十分

◆ 新着情報 ◆

新着冊子のご案内

- ・ 産業保健21 (57号)
特集 職場のメンタルヘルス対策における職場復帰支援のありかた
- ・ 安全と健康 (8月号)
特集 防げ! 爆発・火災
- ・ 心とからだのオアシス (夏号)
特集 職場復帰支援への取り組み

◆ 研修・セミナーのご案内(8月・9月)◆

※赤い字で表記されました日時・会場等は、変更になっています。

ご注意下さい。

=====
■産業医研修

時間:18:30~20:30

会場:大分県消費生活・男女参画プラザ 「アイネス」2階 大会議室

=====
8月 5日(水)第 10 回

「医療職のバーンアウトとメンタルヘルス」ー予防的視座からー

上野 徳美 (大分大学医学部 社会心理学講座 教授)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

=====
■産業医研修

時間:15:00~17:00

会場:大分県北地域産業保健センター(日田医師会)

=====
9月26日(土)第 11 回

「口腔感染症と全身疾患の関連性」 安東 俊介 (安東歯科医院 院長)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

=====
■産業医研修

時間:13:00~15:00

会場:大分県北地域産業保健センター(日田医師会)

=====
9月26日(土)第 12 回

「医療機関におけるホルムアルデヒド及びエチレンオキシドガス取扱い作業場の作業管理並びに作業環境管理対策について」 田吹 光司郎 (大分労働衛生管理センター環境測定部 部長)

★単位数 基礎研修:後期 2 生涯研修:専門 2

産業医研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H21_training/H21_doctor.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
■衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修

時間:14:00~16:00

会場:大分産業保健推進センター 会議室

=====

8月 6日(木) 第 11 回

「医療機関におけるホルムアルデヒド及びエチレンオキシドガス取扱い作業場の作業管理並びに作業環境管理対策について」 田吹 光司郎 (大分労働衛生管理センター環境測定部 部長)

8月13日(木) 第 12 回

「作業環境測定結果の見方」 田口 信康 (大分労働衛生管理センター環境測定部 副部長)

8月25日(火) 第 13 回

「自殺の危険への対応の実際」 渡嘉敷 新典 (シニア産業カウンセラー)

9月 4日(金) 第 14 回

「働く女性のために ~エイジングと生殖」 宮川 勇生 (大分労働衛生管理センター 所長)

9月 8日(火) 第 15 回

「脳心臓疾患における労災認定事例と職場への提言」

和田 秀隆 (平松学園 大分リハビリテーション専門学校 校長)

9月17日(木) 第 16 回

「職場とアレルギー疾患」 細川 隆文 (細川内科クリニック 院長)

9月29日(火) 第 17 回

「自殺発生後の対応の実際」 渡嘉敷 新典 (シニア産業カウンセラー)

衛生管理者・安全衛生担当者・事業主・看護職等研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H21_training/H21_eisei.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
■カウンセリング研修

時間: 18:30~20:30

会場: **大分県消費生活・男女参画プラザ 「アイネス」2階 大会議室**

=====
8月11日(火) 第 5 回

「積極的傾聴のグループワーク」

渡嘉敷 新典 (シニア産業カウンセラー) ・佐用 槇子 (産業カウンセラー)

=====
■カウンセリング研修

時間: 18:30~20:30

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

=====
9月 8日(火) 第 6回

「事例検討」 渡嘉敷 新典 (シニア産業カウンセラー)

カウンセリング研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H21_training/H21_cau.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
■産業看護職等研修

時間: 14:00~16:00

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

=====
9月 2日(水) 第 2 回

「看護職のバーンアウトとメンタルヘルス」ー予防的視座からー
上野 徳美 (大分大学医学部 社会心理学講座 教授)

産業看護職等研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H21_training/H21_sangyokango.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
■産業保健セミナー

時間: 14:00~16:00

会場: 豊肥地域産業保健センター(豊後大野市医師会)

=====
8月27日(木) 第 1回

「過重労働と面接指導」 三角 順一 (大分産業保健推進センター 所長)

=====
■産業保健セミナー

時間: 14:00~16:00

会場: 大分県北地域産業保健センター(中津市医師会)

=====
9月15日(火) 第 2 回

「過重労働と面接指導」 三角 順一 (大分産業保健推進センター 所長)

産業保健セミナーのページ

http://www.oita-sanpo.jp/H21_training/H21_semi.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

=====
時間: 14:00~16:00

会場: 大分産業保健推進センター 会議室

=====
9月 1日(火) 第 2 回

「AED体験研修」 油布 文枝 (新日本製鐵株大分製鐵所 産業医)

AED研修のページ

http://www.oita-sanpo.jp/H21_training/H21_aed.htm

受講お申し込みはこちらからどうぞ

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>

メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、
までお願いします。

info@oita-sanpo.jp

皆様のご意見をお待ちいたしております。

今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

■ ■ ■ ■
Oita Occupational Health Promotion Center

独立行政法人 労働者健康福祉機構

大分産業保健推進センター

〒870-0046 大分県大分市荷揚町 3-1 第百・みらい信金ビル 7F

TEL:097-573-8070 FAX:097-573-8074

<http://www.oita-sanpo.jp> / E-mail: info@oita-sanpo.jp

■ ■ ■ ■